

GE-1-i-08	<b>A 現代経済論</b>	第1学年	後期 選択必修	1.5単位
<b>担当者</b>	細川 甚孝			
<b>一般目標 (GIO)</b>	この講義では、地方自治・まちづくり・地域コミュニティ・ライフスタイルに焦点を当て、現代経済・社会の変化を学習します。その中で、健康・医療・食料・ライフスタイルなどがどのように変化し、今後、どのように変わっていくのかを考えていきます。講師からの情報提供だけでなく、参加者からの積極的な情報発信を図ります。 講師が経営コンサルタント業を営んでいるということもあり、学術的な分析はもちろんのこと、様々なケーススタディからロジカルシンキングなど経営分析に使用するフレームワークの学習も行います。			
<b>到達目標 (SBOs)</b>	1. 社会科学の視点から、日常世界を分析的に見通す力を養うことができます。 2. 現在、変化しつつある社会のあり方、各種分析が出来るようになります。 3. 幅広い情報のプレゼンテーション力/分析力を養うことができます。			
<b>受講心得・準備学習等</b>	受講するにあたり、社会科学についてあらかじめ知っている必要はありません。むしろ、日々の新聞、雑誌、インターネット上のニュースサイトなどの購読を望みます。			
<b>事後学習・復習等</b>	講義で学んだ内容を、現実社会の中を触れ、積極的な気づきを得ていただきたい。様々な課題について、自分としてどのようなことを考えるのかを周囲の方々と議論していただきたい。			
<b>オフィスアワー</b>	講義の終了後、また、電子メール等で受け付ける。			

### 授業の形式と各回の内容

授業の形式		基本的に講義形式で行うが、随時 SGD を実施する。
回	項目	内容
1	イントロダクション	講義のねらい
2	社会的課題の発見手法1	社会的課題の発見の仕方、分析の仕方（いいか、悪いかを考える）
3	社会的課題の発見手法2	課題への対応策の考え方、発表の仕方（根本を考える・対案を考える）
4	地域コミュニティ1	地域コミュニティの変容の流れ（まちがどう変わったのか）
5	地域コミュニティ2	今後必要とされるコミュニティのあり方（今後、どのようなまちが必要か）
6	地方自治1	地方自治のあり方の流れ（市町村制度はどうして生まれたのか）
7	地方自治2	今後必要な自治のあり方（これから市町村制度はどうなるのか）
8	地域ブランド1	地域ブランドを始め、地域における産業振興のあり方
9	地域ブランド2	今後の地域ブランドのあり方（あたらしいブランドは作れるのか）
10	少子高齢化1	少子高齢化のこれまでの流れと考えかた
11	少子高齢化2	少子高齢化への対応策の考え方（このまま少子高齢化は進むのか）
12	ライフスタイル1	ライフスタイルの変容の方向性と変化がもたらしたもの
13	ライフスタイル2	今後のライフスタイルの変化の方向性（これからどのようなライフスタイルをとるべきなのか）
14	まとめ	まとめ

<b>成績評価の方法</b>	期末試験の結果と講義への取り組み姿勢を評価する。
<b>成績評価の基準</b>	期末試験の結果と講義への出席を「講義への取り組み姿勢」として換算し、それらの合計点が60%以上で合格とする。
<b>教科書</b>	なし
<b>参考書など</b>	プリントを配布する